

中央大学

POINT

- 1 情報リテラシー教育をキジケンが支援
- 2 学内LANや無線LANで自在に利用
- 3 ビジネススクールでもレポートや論文執筆をサポート



2007年に日経BP記事検索サービス(キジケン)を導入し、以降利用は安定的に増え続けています。学生の情報リテラシー教育からビジネススクールでの利用まで、幅広いキジケンの活用方法について、図書館事務部の入矢さん、学事部学事課の梅澤さんに尋ねました。

Q キジケンの活用例を教えてください。

まず、新入生向け授業で図書館のデータベース検索を実習させています。学生は「検索なんか簡単だ」と誤解していますが、信頼できて実社会で使える情報は、無料検索サービスでは探せません。キジケンをはじめとしたデータベースの実習を通じて、本当の便利さとは何かを体験し、価値ある情報を見極める力を養ってもらうようにしています。

次に、ゼミの講習会などでキジケンの「表紙から見る」という便利な機能を使っています。テーマを決めて興味を引く記事を閲覧させ、その前後の記事も併せて読んでもらうのです。キジケンだと、1つの記事が単体ではなく、他の記事とつながっていることが容易につかめるので、全体の理解が深まります。記事から記事へ、事象から事象へと知識や興味が芽づる式に広がる。それが活躍できる社会人の情報リテラシー能力だと思います。

Q 実習ではどのようにキジケンを使っていますか？

ネット世代だというのに、AND/OR/NOT検索すら理解していない学生が多く、練習問題によって効率よく検索できるコツをつかませます。キジケンで関心のある会社の記事を検索させると、企業や製品の情報を即座に入手できる体験が印象に残るようです。アンケートで「こんな便利なものがあるとは知らなかった」といった声が多く寄せられます。そういう感動がノウハウに加わると、周りの学生への波及効果も大きくなると考えています。

図書館事務部 担当副部長
入矢 玲子氏

信頼できる情報を見極める力が将来の社会で役立つ

Q キジケンを導入した経緯を教えてください。

メインの中央図書館は郊外の多摩にあります。都心にビジネススクールを開校した時、多くの資料にアクセスできるデータベースが必須でした。「日経ビジネス」から「日経パソコン」、「日経WOMAN」まで幅広い専門誌が収録されているキジケンは魅力でした。記事の信頼性の高さや、誌面イメージのPDFが見られる点も評価しました。キーワードや会社名で検索できる便利さが学生に受け、利用は拡張しています。冊子も購入しており、効率よく探せる電子資料の便利さ、ブラウザしながら全体を見通せる紙の雑誌のよさの両方を上手に使い分けてほしいですね。



Q キジケンの利用環境は？

教職員、学生、大学院生が利用できるようになっています。図書館の端末だけでなく、学内LANにつながる約1万台のパソコンから使えますし、学内の無線LAN経由で個人の端末から使うこともできます。また、離れたキャンパスでも利用できる点は非常に便利です。さらに教職員、大学院生はVPN接続で自宅などからの利用も可能になっています。利用している学生は、商学部、経済学部やビジネススクール、アカウニングスクールが多いようです。学部の授業のレポート作成や、大学院やビジネススクールの論文執筆で多く利用されています。

Q 図書館での取り組みや今後の展開は?

新入生向け講習会と別に、図書館長が教壇に立つ「学術情報の探索・活用法」という授業があり、キジケンを含めた情報源の活用法を半年かけて伝授しています。2013年には図書館内に「情報リテラシールームCITRAS(シトラス)」を開設し、今後はここで新タイプの講習会を開催していきます。

展開の1つとして、就活生サービスを考えています。選考ではコミュニケーション能力が最重要といわれています。就活生は、自分

を表現する面にとらえがちですが、実は相手を知らうとする方が大切です。意中の会社が決まったら、キジケンで、社長名で記事を探してみる。インタビュー記事が見つければ、経営理念や、それが企業戦略にどう活かされているかが即座にわかります。キジケンにはキーワードひとつで何でも探せます。新聞も併用して時系列に資料を追いながら企業研究をすれば、ターゲット企業への理解と関心が深まる上、関心の領域が飛躍的に広がる。素晴らしいツールだと思います。



ビジネススクールでの活用事例

ビジネススクールにおける利用価値、メリットについて学事部学事課の梅澤貴典さんにお話いただきました。

第一線で働く社会人でも、問題にぶつくとネット検索で片付けようとする傾向があります。働きながら2年間でMBA(経営修士)取得を目指す社会人大学院である本学ビジネススクールでは、レポートや研究論文といった課題において、発信元が確かな信頼できる情報のみを収集選択して引用する必要があり、ネット検索に頼っていると必ず壁にぶつかります。そこでビジネススクール入学後にキジケンを含めた図書館が契約するデータベースの活用法を講習して、この問題に対処しています。

日経BP社の専門誌には、ビジネススクールで扱う課題や論文のテーマに役立つ記事が多いことがキジケン利用のメリットです。膨大なバックナンバーから、キーワード検索ですぐに記事を探し当てられる経験が新鮮な驚きを学生にもたらします。



▲中央大学のデータベース検索トップ画面

たとえば、企業や製品の情報や技術の動向を得るときに、キジケンならばキーワード検索だけで信頼できる情報が数多く得られます。信頼できる情報の入手方法を必要に応じて使い分けことが出来れば、より高度な研究成果を出せるだけでなく、勤務先の企業においてもライバルを超える情報を得て差を付けられるでしょう。ビジネススクールの学生には時間がありません。短時間で効率よく高度な研究をし、社会に還元する必要があります。中央大学ビジネススクールの在学生・修士生は、研究を通じた「効率良く裏付けのある情報を収集・評価・活用する」経験を活かして、ぶれない知識基盤を持つ社会のリーダーとして活躍しています。

裏付けのある情報を使う習慣は、研究でも実社会でも違いを生む!

学事部学事課 副課長 梅澤 貴典氏

ここも
CHECK!



オリジナルツールで 学生への利用促進



- ✓ 新入生には、資料の探し方のガイドブックを配布。
- ✓ キジケンを題材にした練習問題で使い方を体感。
- ✓ 手作りのPOP、情報リテラシーームの開設で利用を後押し。

IV. 日経BP記事検索サービス

Q6. あなたが関心のある会社に関する記事を探しましょう。その中でどれか1点
②記事名 ③掲載誌名 ④発行日 ⑤頁数を記入してください。(【日経BP】)

【解答例】

- ① 会社名: トヨタ自動車
- ② 記事名: トヨタ「分割」に秘めた野望
- ③ 掲載誌名: 日経ビジネス ④発行日: 2013年3月18日 ⑤頁数



▲講習で使うオリジナルの練習問題。キジケンを使って企業の記事を検索することで、データベースの使い方を学ぶ

中央大学

2013年5月1日現在

- 創立 1885年創立(英吉利法律学校開校)
1905年(中央大学と改称)
- 所在地 多摩キャンパス: 東京都八王子市東中野742-1
後楽園キャンパス: 東京都文京区春日1-13-27
市ヶ谷田町キャンパス: 東京都新宿区市谷田町1-18
市ヶ谷キャンパス: 東京都新宿区市谷本村町42-8
ビジネススクール: 東京都文京区春日1-13-27
- 学部 法学部/経済学部/商学部/
理工学部/文学部/総合政策学部
- 学生数 24,978名 ビジネススクール167名

